

本官ヨリ館山地方事務局ヲ千葉ニ移シ館山ヲ
 其出張所トシ又水戸(従来千葉軍政監部
 所属ノクラッパ少佐 (Major Clay)ハ水戸軍
 政官タルヘシトコトナリ)ニ千葉地方事務局ノ
 出張所ヲ置ラカテ外務大臣ノ訓令ヲ待
 テ決定シ得ヘキ事増ナルニ付米軍交迭及
 至米軍政監部ノ機構變更ニ就テハ御決
 定アリ次第成ル可ク早速本官ニ御連絡ヲ
 乞フ旨述ヘテ待吉セリ

館山地方事務局ヲ千葉ニ移シ当館山地区
 其出張所ヲ置ラカテ又水戸ニ出張所ヲ
 新設スルヤ或ハ其ノ事務局ヲ全部茨城縣ニ移
 ニ番又ルヤ否ヤ等ニ就テハ現ニ千葉ニ駐在スル

外務省

軍政官。ステイダグマン 中佐 Lieutenant Colonel
 (Mason) 及リダグ少佐。本官談合ノ上
 何合ノ議当地方事務局ノ意見申進スルハキモ
 シラシ大佐ノ談話内容ヲ不取敢報出
 申進ス

外務省

終建護務部一乘

館連第十九號

昭和二十一年一月三十一日

終建護務部館山地方事務局長林定

終建護務中央事務局總裁見玉謙次殿

在館山聯合國進駐軍千葉市移駐ニ

關スル件

一月三十一日本官在館山聯合國進駐軍軍政

部主任官「Eugene H. Riggs」少佐ノ求ニ依リ

往訪「Riggs」少佐ノ語ル處左ノ通

一館山ニ駐屯スル第一騎兵師團第八騎兵

隊所屬ノ一部隊ハ全員二月四日館山陸軍

葉市元日立航空機製作所内ニ在ル部隊

ニ合体ス



0328

外務省

A.1-0-0.2

中根

0329

二第八十二 Military Government Company 館山

支部主任官「Riggs」少佐及「Blakeslee」

中尉ハ二月五日當地爲千葉市ニ赴ク其

後「Riggs」少佐ハ水戸ニ在ル「Clapp」少佐

ト共ニ水戸在勤ノ運ヒト成ルハシ

三館山ニハ目下ノ處後續部隊移駐シ來ルコト

ナカルハシ

右報告申進ス

外務省

終連總務部一課

中札

館連第二三號

終連一部

昭和二十一年二月十二日

終戰連絡館山地方事務局局長林安

館山三ヶ所
の連絡あり
電向あり

終戰連絡中央事務局總裁吉田茂殿

中札又
右紙より

在館山米軍引上げ完了ニ關スル件

當館山地区ニ駐屯セル米第一騎兵師團第八聯

隊所屬ノ一々中隊ニ二月六日以降千葉

A-1-0-0-2

公 信 案

外 務 省

21.2.21
秘書課

21.2.21
館山地方事務局

0331

0330

地區ニ向ヒ引上げヲ開始セル處ナルカ二月十一日
殘留員 1st Lieutenant Knouse 以下六名ニ一
部舟艇、一部汽車輸送ヲ以テ當地に出發、夫
々千葉所在ノ本隊ニ遂及、以テ引上げヲ完了
了セリ
右報告申進ス

公 信 案

外 務 省

14

中部地区進駐關係

地方

A:1-0-0-2

米軍、山梨県上野原進駐ニ関スル報告

昭和二十年十月三日

領事 佐藤由己

記録文書

電信案

外務省

米軍、山梨県上野原進駐ニ関スル報告

一、山梨県上野原ニ九月五日ヨリ七日マデノ期間ニ米軍一千名進駐スル事、本官同知ニ出張
米軍ト聯絡ノ為事、移方可ヲ管見セリ。

二、右豫定ヲ達シ九月九日午後三時至七時、師團所屬
一 Col. Mast, Capt. Yokota 及三世下士官三名来着

電信案

外務省

一、一行ノ求々ヨリ、現時中飛行機部分區ノ製作
 所ナリシ、鋸高機工場ヲ東内セルトシ、官舎トシテ満足
 ナリトシ、電燈ノ取附ケヲ増設スルヲ、給水ヲ充分ニスル
 事ト、建物及庭内ヲ清掃スル事ト、三占山ヲ西内ニシテ
 二七師團ヲ〇〇ヶ部隊ヲ進駐スル事ト及、駐兵前
 十〇日ノ前記 Capt. Goppo ヲ隊長トシテ先遣部隊
 約千名ヲ派シ、官舎ノ割草及部隊進駐ニ関スル

電信案

外務省

下準備ヲ為スル事ト、三占山ヶ部隊セリ。
 二、仍テ電燈水道ノ増設工事、建物ノ清掃ヲ為シ、官舎ト
 シテノ若軍側ノ庭内ニ、割草ノ標準備ヲスルニ又、庭内ノ散草防
 圍員ヲ總動員シ、道路ノ拡張修理、街燈柱ノ架設等
 ヲ為セリ。
 四、山形市果之藤トシテ、果山下ノ最初ノ進駐ニシテアリ、極メ
 予備重ニ事ニ當リ、内務部長、地方事務力所長等

電信案

外務省

一、派出、散言、備二團、指揮、ヲ為シ、散言、勸務、課長、ヲ隊長
 トス、散言、備隊、散言、官、約、二名、ヲ特派、學下、中、學、校、英
 語、教師、ヲ勸員、通、話、トシ、派、遣、シ、又、駐、兵、二團、各、心
 食糧、等、ノ準備、ヲ為セ、。

五、散言、案、ハ、告、示、ヲ、以、テ、町、民、ニ、對、シ、冷、靜、奉、能、心、ニ、處、シ、
 一、事、常、一、通、リ、業、務、ヲ、從、事、ス、ハ、キ、ヤ、ト、テ、豫、シ、進、駐、甚、
 日、ノ、交、通、移、動、散、言、戒、備、ヲ、對、シ、散、言、後、ノ、配、置、等、ノ

電信案

外務省

準備、ヲ、為、シ、官、員、ヲ、以、テ、國、勵、駐、兵、中、不、祥、事、發、生、ノ
 防止、方、ニ、努、力、ス、。

六、留、場、ヲ、以、テ、卸、付、場、長、隣、組、長、等、ヲ、招、集、米、集、進
 駐、二團、ノ、常、倉、ヲ、固、カ、セ、散、言、案、ヲ、以、テ、諭、告、傳、達、ト、共、ニ
 婦、女、子、ノ、服、裝、及、外、出、等、ニ、關、ス、ル、心得、ニ、付、別、添、付、圖、覽
 ヲ、以、テ、所、氏、ノ、注、意、ヲ、喚、起、セ、。

七、憲、兵、隊、ノ、準備、ヲ、隊長、ト、シ、二、〇、名、ヲ、配、置、且、旧、軍、人

電信案

外務省

及最近復員を乞ふに對し第一場合に對するに故軍備
ノ供ニ充テリ。

八、國民學校の授業ヲ休止スル等 駐兵ニ對するに各方面
ノ準備終ラセリ。

九、然レテ進駐ノ案トシテ之ノ各部隊に豫定ヲ變更
同後ノ席スルヲセテ師團全体カ新渡戸面ニ移駐シ
上野原地区ニ「アメリカ」師團ノ司令部ヲ下トセリ。

電信案

外務省

〇、而シテ「アメリカ」師團ノ上野原進駐ハ何日頃トヤ不
明トシテ之ヲ本省古内課長カ電話聯絡ノ上、引率
ノ通訳十七名、故軍備側ノ要望ニ応ジ暫ク宿帳ノ上
伏見ニ即座シテ引揚ケセシメトシ本夜ハ九月十三日事
務所ヲ一時閉鎖引揚ケタリ。

二、次テ十日午後四時「アメリカ」師團ノ Lt. Col. Taylor
来着出高松ニ場ヲ移シ又翌十七日師部隊

電信案

外務省

長 Col. Dunn 未着。日三場ヲ更ニ候分セリ。而シテ
十八日以來日大佐部下ノ士官一名、兵六名、醫波セシ故云
密着船内ニ宿泊滞在シ、警備側ト協力仕務力ニ盡
シ。

三、本官ハ、警備隊、憲兵及行場ノ係員ヲ指導シ、米軍
所屬ニ関スル諸般ノ注意ヲ与ヘ、ト同時ニ、警備トシテ
干建物ノ諸準備ヲ指示シ、米軍帯在中、不祥事

電信案

外務省

ノ警備ヲセサル様旨勸シ置キ申。

三、警備隊、憲兵、行場等ノ進駐案内關スル情報
ヲ付テ、完ク知ル方途ナキ状況ナリシヨリ、本後ハ
横濱及厚田田ニ出張、米軍所ノ師軍司令部及
アメリカ兵師團本部ニテ進駐ニ関スル情報ヲ得タリ
上、之ヲ本官係方ニ傳フルト共ニ之ヲ指導等ニ置キ
ケル。

電信案

外務省

電信案

外務省

區前記米兵七名八十八日以來、猶配宿滞在申
十九日今日(十月三日)迄之何等ノ事故ナシ。

緊急回覧板

二〇九二

念々明日(十三日)ヨリ聯合軍が初共所ニ進駐ニテ来ルコト

ニテリセリ

既ニ皆標ニ此ノ進駐ニ対シテ充分ノ心構ハ在来ニ居ルトニ思ヒ

ニカ左記事項ニ付テ是實行致シマセウ

記

不用意ノ外出ニ懸ケマセウ

ニ降組ハカッケリ組ニテ不詳事項ニ於テ生テ防テマセウ

ニ不仕要ナ所ニ結リテ貴重品等ニ適當ナ個

所ニ藏メテ置キマセウ

進駐兵カテ話シテ城ケラレテ言葉カ通ジテ場合ニ進

駐ニ懸テ連夜ニテマセウ

五 婦女子ニ地味ナ服装ヲ為シ一人毎キヤ夜間ノ外出ニ絶對

避ケマセウ

又進駐兵ニ笑顔ヲ見ヤテハナリセシ

若シ暴行ナレバ標ナ場合強ク抵抗シテ日本婦

人ヲ少ク保持ヲ保ケマセウ

地

代

地

處方錄

病室

月日	處方	療養品
	<p>1945. 11. 11</p> <p>...</p>	<p>...</p>

米軍進駐ヲ迎へル我等ノ覺悟

0346

我等ハ米軍進駐ノ冷感ナル事實ニ直面シテ飽ク迄承認必齋後ヲ立上リテ一日デモ早クシナケレバナラヌノアルガ斷乎國體ノ維持ト民族ノ名譽トヲ全クシテ爲ニハ當面如何ニ對處スベキカ
 次ノ事項ハ必ズ之ヲ守リ且ツ實行シ此ノ苦難ノ道ヲ或五ニ相扶ケ相成メ合ツテ突キ過マウ
 其レハ現在ノ我々ノ勤メテアリ長クモ上程明ニ確ヘ奉ル所以デアル

一、進駐ノ確立ト時局ノ維持

○自分勝手ハ止メヨウ

此ノ際ダ自分ダケ其ケレバ他人ハドウモイト言フ様ナ存ハ爾然止メヨウ 進駐既レテ秩序
 ノ維持ハナイ 秩序ガ保タレナケレバ混亂ヲ増スノミデアル
 〇五ハ飽ク迄冷靜ニ沈滞ニ殺然タル態度ヲ持シ進駐軍ヲシテ流石ハ日本國民デアルトノ感ヲ抱
 カセル様ニ心掛ケヨウ

二、決シテ不安動搖シテハナラナイ

知ツタカ振リト素人判斷ハ止メヨウ 流言浮説ニ迷ヒ又之ヲ傳ヘル事ハ秩序ヲ紊ス事デア
 〇今度ノ進駐ハ平和進駐デア
 戰爭ハ長クモ大體ニ依ツテ終ツダノデア
 進駐軍ヲ迎へルニ當ツテウマク行クモ行カヌモチ
 ラノ心構ト態度如何デア
 二、關係共助ノ組織確立

三、進駐地域ト其周邊ハ相當多數ノ武裝警察官ト憲兵ガ配置セラレ治安維持ニ當ルノデア

進駐地域ト其周邊ハ相當多數ノ武裝警察官ト憲兵ガ配置セラレ治安維持ニ當ルノデア
 進駐地ト其例ヲ見テモ言語風俗習慣等ノ相違カラ一部ニ不詳モアルノ取急キ開組デハ相
 互扶助ノ體勢ヲ整ヘル必要ガアル
 一、米兵ト直接スル場合成年男子二人以上ガ應待出來ル(然モ出來得レバ英語ノ解セル人ガア
 レバ一層良イ)準備ヲシテ置クコト
 二、外出ハ成ルベクシナイコト
 三、殊ニ女ノ一人歩キハ絕對シナイコト 止ムヲ得ナイトキハ二人以上出掛ケラレル準備ヲス
 ルコト
 四、豫メ組内デ話合ツテ置イテ事ガ起キタラドノ家ノドノ人ガ馳ケツケテヤルト言フ様ニ準備
 ツテ置クコト

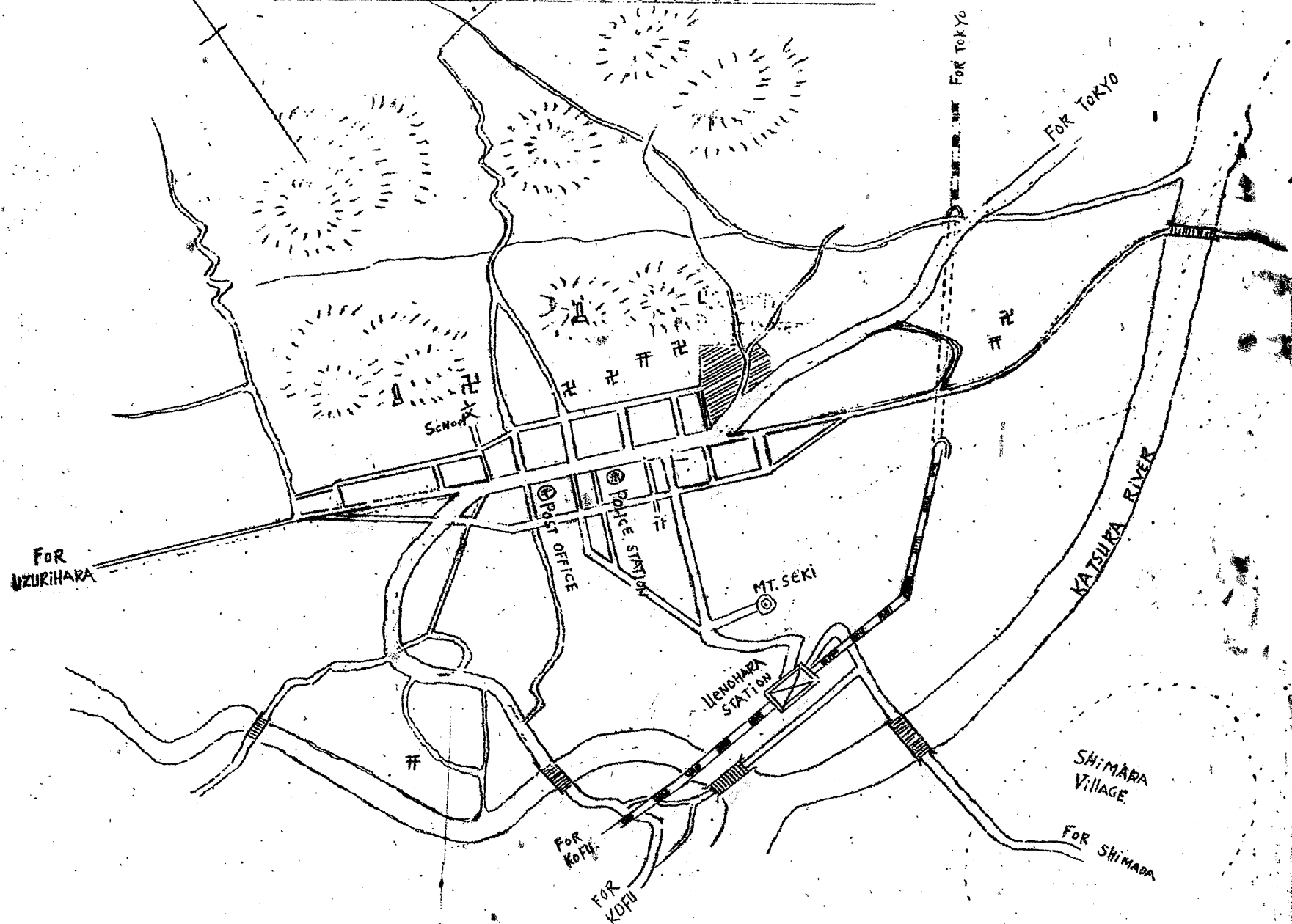
三、注意事項

一、飽ク迄當局ト取務官等ヲ信賴シ冷靜ニ平常ノ業務ニ精勵スルコト
 二、多數ノ米兵ノ中ニハ命令ノ不徹底ト好奇心等ノコトカラ不祥事起ル絶無キ期シ難イカラ無
 用ノ摩擦ヲ起サナイ様ニ注意スルコト
 三、一時的個人感情ニ依ツテ決シテ輕率妄動シナイ様ニ注意スルコト 極早安動ハ國民全體
 ニ迷惑ガ及ブモノデア
 四、米兵トノ個人接觸ハ絕對避ケルコト 萬一紛擾發生ノ場合ハ速ニ官憲ニ届出デ其ノ指示ニ
 從フコト
 五、進駐時ニ於テハ戸籍ヲ廢ニシ物ヲシテ氣ニ懸メタリ(惡カクノソキ見ハ一番惡イ)近寄
 ヲタリシナイコト
 六、米兵ハ習慣上記念品ヲ欲シガル様デア
 七、カナイ處ニ取ツテ置クコト
 八、短刀、棍棒其他武器ニ類スルモノハ相手方ヲ刺殺スルカラ外出ノ際持歩カナイコト
 九、翁女子ノ心算

四、翁女子ノ心算

一、飽ク迄日本婦人ノ禮儀ヲ守リ心算ヲ廢シテ米兵ニ乘セラル、隙ヲ與ヘヌコト
 二、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 三、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 四、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 五、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 六、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 七、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 八、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 九、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十一、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十二、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十三、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十四、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十五、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十六、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十七、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十八、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 十九、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 二十、米國ハ女尊男卑ノ國デア
 大層デ救ヒツ求メルカ自衛上出來ルダケ抵抗シテ相手方ノ人相特徴等後日詳報トナルベキモ
 ツツカンデ置クコト

DISTRICT MAP OF UENOHARA



A-1-0-0-2 (2)

外省

至急

七、通信 一三三五
訂了 一三一〇
電 〇八八五

陸軍省
外務省
輔政

東通

佐鎮長官

吳鎮、薛鎮、張警各長官

解文

七〇八三五 番電 二分一〇

陸軍務局長

通報陸軍次官 終戰連絡中央事務局

十月六日 乘駐軍情報 第下九号

一、調查漏下為早岐施設部 防空壕水二枚

飛彈(三十) 托回(三三) 格納

...

三有リシモノ及海仁会病院ニ大藥ヲ埋藏シ有リ
 シモノ十月四日及五日進駐軍ノ祭見スル所トナリ直チ
 ニ真相ヲ調査シ五日其ノ直接責任者タル佐世保海
 兵團長及佐世保工廠総務部長同進林參謀副長
 一ニシット司令部ニ其ノ真相ヲ傳ヘ道徳ノ意ヲ表シタリ
 米司令部ニ於テハ未ダ其ノ事實ヲ知ラザリシガ直チニ海
 兵甲附外一名ト兵ニ佐國砲術長現場ニ至リ調査セリ
 此種事件ニ関シテハ今後ノ絶滅ヲ期スル爲各庁ニ檢索
 隊ヲ組織セシメ更ニ萬全ヲ期スル事トセリ
 二十月八日又ハ九日仁川ヨリノ歸還者五〇〇乃至六〇〇
 〇佐世保ニ入港ハ旨西部軍ヲリ 鐵道側ニ連絡アリ眞疑ヲ
 確シトスニ準備中

三十月五日二〇〇〇頃佐賀縣附近ニテ列車 陸軍軍
 (一七〇)衝突シ海兵伍長一名重傷セル事件アリ

重傷者ハ本朝佐世保ニ着入院ニ鐵道側ニ
 關係米軍一ヲ見舞タリ(該米軍駐軍情報
 ハ一九〇九五五番電(九月)ヲ一ノ一九八二六
 番電ヲ一ノ二一三三〇番電ヲ一ノ三〇三〇
 日米駐軍情報ヲ一ノ四四号トシ以下毎日号
 ヲ追ヒ番号ヲ追加セラレ度)

名古屋情報第一號

昭和二十年十月一日

終戰連絡中央事務局名古屋連絡官事務所

服部書記官

終戰連絡中央事務局第一部長殿

今般名古屋地域進駐、聯合軍、動靜、隨時名古屋情報上中間報告、送付致意、其、都度、内務省側、御連絡相成度

一、名古屋進駐、十月四日頃、豫定、名古屋港、使用、趣、四日市港、使用、七カ所、也

二、米軍、大阪神戸、港灣、状況、照鑑、名古屋中、L. S. S. S. / 設置、計畫、居、右、明、二、日、到着、Nagoya、首、腦、部、現、地、視、察、上、三、次、決定、意、趣、處、右、部、隊、設置、ノ、上、名古屋、近、畿、地方、に、於、て、補、給、運、輸、ノ、基、地、に、テ、進、駐、兵、力、に、現、在、豫、定、的、四、万、人、に、相、當、増、加、ヲ、求、メ、趣、ス

終

A-1-0-0-2

名古屋第五號

昭和二十年十月一日

終戰連絡中央事務局名古屋連絡官事務所

服部書記官

終戰連絡中央事務局第一部長殿

名古屋地区進駐軍状況、關、係、件

一、十月一日迄、米軍、歩、兵、第、五、師、團、司令部、より、供、出、要、求、了、了、ル、建、築、物、施、設、左、ノ、通、リ

尚、同、司令部、發、出、供、出、要、求、書、一、括、取、増、大、送、付、致、意、

四、(一) 觀光、米、兵、名古屋、觀光、米、兵、有、限、會、社、所、有 (社長、青木、謙、太郎)

(二) 名古屋、市、公、會、堂、名古屋、市、長、管、理

(三) 名古屋、陸、軍、幼、童、學、校、國、有

(四) 三菱、電、氣、宿、舎、三菱、電、機、會、社、所、有

(五) 小、島、演、習、場、國、有

(六) 大、和、生、命、保、險、有、限、會、社

(七) 陸、軍、第、三、師、團、駐、所、國、有 (東、海、第、三、入、部、隊)

昭和二十年十月十五日 午後五時

第三課長

松島 愛信 山澤

連絡官 長野 縣知事

警保局長

進駐ニ関スル件報告

一 進駐日時 十月十日午前七時ヨリ先發ニヨリ名ヲ以テ逐次

進駐ニ奉リ尚続行シツマリ

二 進駐員数 現在ノ所

松本 二五〇 上田 九〇〇 長野 一五〇

村井 一〇〇 名 上田 五〇 名 長野 三〇〇 名 (予定)

尚飯田ニ四〇名 分遣隊進駐ス

一 事故 十月十日午前八時四十分頃 長野縣北佐久郡北大井村

地籍ニ於テ進駐軍自動車一台 崖下ニ墜落 員傷者

大日本帝國政府

十七名(内二名重傷)ヲ生ス

○ 右員傷者ハ即日自動車ニヨリ 柳代田驛ニ至リ 汽車

ニ搭載シ 熊谷陸軍病院ニ搬送マリ

○ 十月十日 鐘紡長野工場ニ駐セル 聯合軍ハ 宿舍附近

工場ニ在リタル トラニットレール 一個・Yレール 十二個 電氣

ポール 三個 ヤスリ 其他相当物 價七万円位ヲ持テ出エタリ

本件ハ連絡年員ヲ通シ 軍司令部ハ 返却方申込済

以上

Ltr, Central Liaison Office, Tokyo, dtd 6 Oct 45, subj
"Occupation of Uenohara, Hachioji and Kofu".

AG 370.2 (FB) 1st Ind

Headquarters Eighth Army, APO 343,

TO: Central Liaison Office, Tokyo

THRU: Liaison Commission, Prefecture Building, Yokohama

1. The presence of reconnaissance parties in the above cities did not necessarily indicate that occupation troops would be stationed in these localities.

2. Depending upon developments in the situation troops may or may not be stationed in the cities mentioned. 48 hours notice will be given prior to occupation.

BY COMMAND OF LIEUTENANT GENERAL EICHELBERGER:

Info Copy to:

XI Corps

秘傳

名古屋第

八號

昭和二十年十月十三日

在名古屋

版部連絡官

陸軍連絡中央事務局局長殿

米軍、名古屋方面進駐の因に報告す

一 當方面に進駐スル米軍八軍一軍團ニ屬スル歩兵第二十九師團、名古屋基地兵站部隊、米國補給部隊、國崎航空隊ニ本部ヲ置ク才六軍中一補給隊ニシテ才十九師團、コブラウシ代將ヲ主班トシ團長部將將校約二十名ヲ以テ編成セシ先遣隊ハ九月二十六日名古屋に到着觀光、ホラシニ本部ヲ置キ我方協力ヲ行ハシメ

A:1-0-0.2

ニ當リ十月十日概テ諸準備ヲ完了セルカニ進駐部隊ノ配置予定別紙ヲ一紙ニシテ
二 進駐軍ハ才六補給隊ノ一部約二千五百名カニ似テ
三 鐵道精進ニ依リ到着セル外、主力ハ名古屋荒川上陸セル予定ニテ、伊勢灣ノ掃海作業進捗ニ依リ、因リ範圍ノ進入遲延ニ居ルカ目下ノ所、十月十七日ヨリ三日内ニ百リ揚陸實施ノ見込ナリ
揚陸兵員ハ、名古屋市内駐留部隊以外ハ、橋樑ヨリ鐵道ニ依リ進駐地ニ輸送セラルル予定ニテ、輸送計劃別紙ヲ一紙ニシテ
尚、軍需品輸送ニ際シ、米軍力供出ヲ要スルカニテ、上陸才一軍團才五百名、才二百五十名、各日共二十四時間、運送ニテ、橋樑人夫、十七日以降五日間、毎日二百五十人宛晝夜三交替

2

就勵方要請し居り

三才二十五師團長

Major General C. L. MacLean 副官に詳し

日 和 歌 山 三 陸 路 系 及 三 花 遣 隊 々 合 計 三 日 前 十 時 本 官 紹 介 下
福 重 愛 知 米 知 事 及 佐 藤 市 長 訪 問 受 け 名 前 席 上 同 少 将 米 軍
進 駐 期 間 日 本 官 氏 推 崇 協 力 謝 意 表 示 同 師 團 長 兼 隊 下
部 隊 々 々 公 正 嚴 格 規 律 保 持 セ ン ル 決 意 告 げ 不 少 感 謝 興 々
當 方 面 於 今 日 迄 所 差 し 之 事 故 々 々 民 心 一 般 三 才 辭 々

終

別紙一

進駐軍、主夕ル駐屯場所

0359

歩兵第二十五師司令部

名古屋市大和生命(徴兵)ビル

歩兵第二十五師司令部

守山騎兵第三聯隊

歩兵第三十五聯隊

小牧名古屋陸軍幼年學校

鷹來陸軍造兵廠

歩兵第一六一聯隊

陸軍小幡演習場

東海軍司令部第五及竹中

三五部隊

琴母海軍航空隊宿舍

第二十七聯隊

各務原陸軍飛行場

名古屋基地兵站部隊

三菱重工業名古屋航空機製作所(大江南郊工場)

愛知航空機會社

岡崎海軍航空隊

第十一補充部隊

蒲郡(ホタル)

名古屋市公會堂

憲兵隊本部

名古屋市道院局

醫務部隊

名古屋陸軍造兵廠(廣路所)

旅団司令部(第四機銃特別部隊司令部)

名古屋陸軍造兵廠(廣路所)

第三課長

名古屋地方道線車鐵道輸送計書一覽表

連絡官

名古屋地方道線車鐵道輸送計書一覽表

東海地方道線車鐵道輸送計書一覽表



國定規格 B5 125 X 175 (mm)

大日本帝國政府

一	十月十四日	名古屋港	和賀島	二列車	九九〇名
二	十五日	岡崎	一	四三五名	
三	〃	枇杷島	一	四二五名	
四	十五日	津島	和賀島	五	三九五〇名
五	〃	和賀島	四	三三〇〇名	
六	〃	枇杷島	一	八五〇名	
七	〃	鳥羽	二	一一〇〇名	
八	〃	〃	三	一一〇〇名	

右他貨車輸送ハ又名古屋港

名古屋地区ニサノトモ一五〇〇名進程

國定規格 B5 125 X 175 (mm)

大日本帝國政府

十月十四日	十二輛
十五日	六
十六日	七

已決定ハ先行先時刻未定

二〇一〇二一四〇〇名 曾本送政官了會收